

10. 2020

発行 令和2年10月



「コロナ禍から学びたいこと」

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降政彦

新型コロナウイルスの感染者が世界中で広がり、とうとうアメリカのトランプ大統領までが罹患しました。感染者3600万人以上、死者も100万人を超えました。私共まほろばは、様々な困難が降りかかる中、まほろばの三信条のもと、創意工夫し、お互いの、また世の中の々の健康を祈り、この感染症の早期終息を祈りながら、頑張っております。

さて、この新型コロナウイルス感染症は、昨年末中国の武漢市で発生しました。人から人への感染はないとの当局の発表に高を括っていたのか、2月3日、日本でも急速に感染者が増え続け、新聞テレビの報道もこれ一色、感染者増加による医療機関は勿論、経済、教育、スポーツ、文化など各方面、社会全体への影響は甚大で、三密は避けよ、マスクはつけよ、他都道府県への移動は自粛せよと、社会の動きは一時、パタリと止まりました。

これが世界中で感染し、日本も緊急事態宣言が発出されましたが、日本は優等生で、約1カ月で解除され、やれやれこれで鎮静化かと思いきや、夏になり再拡大。いつ終わるのかと、今、人の心は複雑です。

このウイルスの毒性は他の感染症に比して非常に弱いと

されますが、然し、感染力、しぶとさ、持続力、高齢者・基礎疾患保有者には滅法威力を発揮する。この得体の知れぬ新型コロナウイルスに対し、更に、恐怖心、慣れ、無視と様々な受け取り方があり、これがコロナ禍を更に厄介にしています。

まだまだ終息の見通しのつかない中ではありますが、私なりに天理の教えを軸に、このコロナ禍から学びたいこと、学ばねばならないこととして、次の二つを挙げてみました。

その一つは、世界は、世界の人々はみんな繋がって、たすけあって生きているということ。日本だけが大丈夫ということはありません。アメリカ、インド、ブラジルなどどんどん拡大していますが、これは日本で生きている我々にもいずれその影響が及んでいきます。ですから祈りは、グローバルでなければなりません。

もう一つは、当たり前のこと、当たり前の日常生活、当たり前日々あること、これが大切であります。当たり前のことに感謝できる自分になりたいと願っております。コロナの時代を迎えた今回、そんなことを思っております。

新型コロナウイルス特集

“ピンチをチャンスに！”

新型コロナウイルスの感染拡大が社会に大きな影響を及ぼしています。「ウェルフェアーマほろば」も売り上げが前年度の半分に激減するなど苦しい状況が続いています。コロナ禍のニュースばかりで予断を許さない毎日ですが、ピンチをチャンスに変えるべく、今自分たちに何ができるのか、今すべきことは何なのかと従業員一丸となって、1日も早く元の生産活動に戻れることを願いながら、この困難な状況を乗り切る術を模索しています。

measures

01

ドライブスルー販売

5月19～22日、9時～15時の4日間実施。

4日間の来客数：782客

普段は製造のみの工場で店舗はありませんが、まほろばのパンを食いたい！という皆様のご要望に応える形で、法人内の駐車場を利用して、人と接触しないようドライブスルー方式でパンの直売を行いました。その場で揚げたてのカレーフライや焼き立ての各種パンを用意し、すぐに売り切れる種類もありました。新聞折り込みや口コミでお知らせし、一時は車の行列ができるほど想定外の多くのお客様にご利用頂きました。不慣れなことも多く、ご不便をおかけした事もあったかと思いますが、この紙面をお借りして御礼申し上げます。



measures

02

パン、お菓子の工場直接受注 共同購入の実施

神戸王様のカシミア食パン・ラスク～魔女の魔法箱・黄金フィナンシェ等、おすすめ商品を厳選し、特別価格で販売。何人かのグループでまとめて購入（共同購入）いただくことで送料が無料になるサービスあり。また、学校・団体等にテレアポ・DM発送、受注へとつなげました。注文書を同封しておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

お問い合わせ：0794-82-9457

<その他の取り組み>

- 新商品 和漢饅頭・和漢フィナンシェの販売開始・販路開拓
- 神戸王様のカシミア食パンの新規販路開拓
- パンの商品開発の促進・既存商品との入替
- ラスク欠品率削減のための研究



measures

03

登園時の手洗い・消毒・検温



登園してすぐに玄関外にある手洗い場で石鹸で手を洗い、アルコール除菌で消毒をして施設内に入ります。雨が降っても濡れないように屋根もつけました。作業前には検温も欠かせません。



手洗い場



measures

04

作業室・施設内の換気

窓に網戸を設置して開放し、部屋の換気を徹底しています。



measures

05

3密を避ける



食堂の密集を防ぐためテーブルの間隔を空けたり、利用時間の工夫をしました。同時に食堂の隣の園庭に新たにテラスを用意し、外でも食べられるようにすることで食堂内の人数を分散させました。天気が悪くても外のテラスで食べられることができ、ゆったりとした空間での食事が可能になりました。

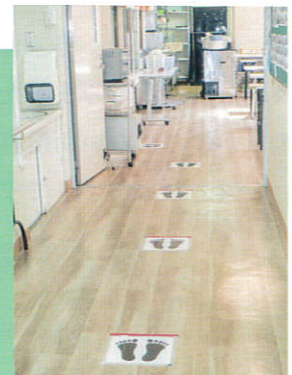
テラス



机の向きや配置を変えて対面で食事をしないように工夫したり、1つの席に2人しか座れないように距離をとりました。各机には「家にいる」「マスクをつけよう」など対策の呼びかけポスターを提示しています。



さらに、食堂に入り配膳の際には床に貼った足形に合わせて並ぶ、いわゆるソーシャルディスタンスを保つように工夫しています。いつもの時間帯よりも早い時間の給食に最初は戸惑う方もいましたが、食後はゆっくりできて昼休みの時間の使い方も変わってきました。



お花見

2020.4.3
MAHOROBA

毎年桜の時期になると、まほろば全体で昼休憩を利用してお花見をします。新型コロナが流行り、色んな行事が中止になる中、お花見の実施が検討されました。テーブルの間隔をあけたり、事業所ごとで時間をずらすことでコロナ対策をしながら実施しました。

いつもの食堂での昼食とは違い、屋外でお花見弁当を味わうことが出来少し気分転換が出来たようで、皆良い顔で過ごしました。



ウ

WELFARE

母

MOYA

古神グラウンドで余暇活動

2020.3.19

この日は午前で仕事を切り上げ、古神グラウンドでレクリエーションを行いました。利用者さん51名、職員15名の計66名の大所帯となりましたが、グラウンドの規模からすると何てことはありません。初めてグラウンドを見た利用者さんはその大きさに「うわっ！ひろっ！」と驚いていました。

用意したのはソフトボール、卓球、凧あげ、バドミントン。「ホームラン打ったで一！見てくれた？」、「職員さんも一緒に卓球しよう！」等、皆さんとびきりの笑顔で思い思いのスポーツを楽しみました。翌日には「筋肉痛や〜」と少し動きがぎこちない利用者さんもいましたが、痛みも心地よい余韻となったようです。たまには運動も良いですね。



日頃の感謝を込めて、
帰り道にゴミ拾いを
しました。



MAHOROBA

メンバーさん

藤井 忠さん(66)

Focus



藤井さんのまほろば歴はなんと！33年！！ウェルフェアまほろばパン工場で、設立当初から30年近く働いていました。

当時の専属は揚げパンでフライの職人でした。当時の事を聞いてみると、「朝は2時30分に起きて出勤しとった。揚げパン係は難しいんや。暑いし、眠いし、パンが発酵しているか見なあかんし。」と思い出しながら話してくれました。現在は、母屋水耕栽培班で野菜の掃除作業を行っています。「今の楽しみは、週末に飲むビールと宝くじを当てること。」と嬉しそうに話してくれました。「週1回はロト6・ジャンボ宝くじは欠かさず買う！」と藤井さん。「宝くじで7億円当てて、城崎温泉西村屋に1週間泊まるやろ。良いスマホも買って、若返る全身整形するねん」と夢を膨らませ嬉しそうに話してくれました。

仕事と趣味の両輪があって、人生が楽しく進んでいくのは皆一緒ですね。これからも、楽しい話いっぱい聞かせてくださいね。



お知らせ



◎法人行事について

例年秋頃に開催しております「まほろば感謝祭」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年中止とさせていただきます。「まほろばカーニバル」に引き続き中止せざるを得ない状況が続いておりますが、一日も早く収束し、また皆様にお会いすることができるよう願っております。

<寄附金受領報告>

2019年度に受領いたしました寄付金について、感謝しご報告申し上げます。

寄付金総額 4,684,292円

内訳	法人活動のための寄付金	1,309,292円
	まほろばカーニバル協賛金	380,000円
	まほろば感謝祭協賛金	395,000円
	まほろば後援会寄付金	2,600,000円



多くの皆様にご協力いただきありがとうございました。また、まほろば後援会からも改めて御礼申し上げます。

<寄付の募集>

利用者（障がい者）の一層のサービス向上及び社会福祉事業の発展に資するため、皆様のご寄附をお願い申し上げます。同封の振込用紙をご利用ください。

郵便振替口座：00950-3-238721 社会福祉法人まほろば

栗山の開発

以前購入した土地のうち、広野ゴルフ団地山を栗山として開拓しています。講師に農林水産技術センターの水田先生をお招きして、御指導を頂きながら進めています。

- ・軽トラックが通る経路を作って管理をしやすいようにする
- ・栗の木を植える間隔
- ・栗の仮植え



3月12日

植木鉢に栗の仮植え

(品種) 銀寄60本、筑波60本

6月1日～8日

堆肥を現地まで運んで混ぜる

植える場所に穴を開ける



3月13日～15日

木を伐採して整地

ショベルカーを使って開拓

6月9日～6月17日

栗の木を植える

◆この伐採した木にシイタケの菌を入れていく

伐採した木を園まで運んでもらい、3月中旬から4月上旬に利用者を中心に実施。以前に取り組んだこともあって、問題なくスムーズに取り組めるようになりました。

◆菌の入った木をゴルフ団地山へ運び、仮伏する。

金棒池山の開発

以前購入した土地のうち、金棒池山を散策道として開発しています。

◇金棒池に通じる山を、車が走行出来て管理しやすいように道を作って整備しました。

- ・3月3日、道路になる予定部分にロープを張って準備
- ・3月23日～4月10日、ショベルカーを使って開拓
- ・土管を入れて歩きやすい道に整備して、今後は利用者の散策道として活用できるようにしていく予定です。



畑での取り組み

以前に購入した田畑用地を活用して、利用者で育てる野菜の畑を作っています。

新型コロナウイルスの影響で、下請けの作業や活動が激減し、みんなが出来て少しでも工賃に反映されるように…と考えて取り組みを始めました。

利用者と職員で畑に苗を植えたり、水やりをします。何回かすると慣れてきてスムーズに出来るようになりました。冬野菜が収穫できる予定で、今から楽しみです!!



訃報

社会福祉法人まほろば理事、金附洋一郎先生が、去る5月16日に91歳でご逝去されました。先生におかれましては、法人の設立以来33年の長きに渡り、理事・評議員として至らぬ私どもをお導きくださいました。

今年に入りましてからも、新年の集いや理事会に元気なお姿で出席くださいました。1月末には、奥様が急逝なされ、いつもご夫妻で行動を共にされておりましたので大変心配もいたしました。その後も活発なご助言を頂戴するなど、そのご健在ぶりに安堵していたところでした。そのような矢先の突然の訃報で、ただただ、驚きと無念さと哀しみが募るばかりでございます。

常に具体的な指針をお示しくくださり、相手が誰であれ、分け隔てなく慈愛に満ちた温容で接してくださった先生を忘れることができません。先生への感謝の念と、そして、そのお徳をお偲び申し上げるとともに、私どもは、先生から賜った数々のお言葉を遺訓とし、これからも法人として受け継がせていただく所存でございます。

金附洋一郎理事 略歴

1929年 和歌山県生まれ	1993年 神戸市須磨区社会福祉協議会理事に就任 (2004年退任)
1953年 同志社大学工学部卒	1995年 兵庫県社会福祉施設経営者協議会会長に就任 (2004年退任)
1961年 株式会社日本グリーンス入社 (1981年退社)	兵庫県社会福祉協議会副会長に就任2003年退任
1982年 神戸聖隷福祉事業団神戸聖生園園長に就任	2000年 社会福祉法人春秋会理事長に就任 (2018年退任)
1984年 神戸聖隷福祉事業団第2代理事長に就任 (2004年退任)	2002年 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団理事に就任 (2003年退任)
1987年 社会福祉法人まほろば理事に就任	2004年 神戸聖隷福祉事業団顧問に就任
1988年 兵庫県精神薄弱者愛護協会会長に就任 (1993年退任)	賞罰 2002年 兵庫県社会賞受賞



2020.1 祝賀会にて↑



故金附洋一郎先生を偲んで

社会福祉法人まほろば常務理事 門口守子

昭和59年、法人設立の計画を立てました。福祉について何の知識もなく、法人設立認可申請も手探りの状態でした。誰にも聞くあてもなく途方に暮れていた時、神戸聖生園にお電話したところ、金附先生がお電話に出てくださり何の面識もない私に快く「いいですよ。」とお返事くださったのです。それから、「一日も早く良い施設を創ってください。」といつも懇切丁寧に教えてくださいました。今でも心に残っているのは、「門口さん、何でもするのが福祉ですよ」というお言葉です。そのお言葉通り、まほろばは何でもさせていただいたので「先進的な施設」と評価を受けることができたのだと思います。以来36年間まほろばを導いてくださいましたが、まほろばがここまでこれたのは先生の導きがあつての事でした。先生、本当に長い間ありがとうございました。

令和元年度
社会福祉法人まほろば
事業報告

1. 理事会・評議員会開催

	開催日	主な審議内容・報告事項
理事会の開催	2019年5月30日	平成30年度事業報告・計算書類等承認、定款変更、役員等報酬規程改定、就業規則の改定、新役員候補者の推薦、理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
	2019年6月21日	理事長、常務理事、業務執行理事の選任について
	2019年11月21日	令和元年度第1次補正予算案、定款変更、土地及び中古物件購入の件、賃金規程改定、職員自主研修規程・安全運転管理規程の制定、古神事業計画案についての承認等 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告、令和元年度中間事業報告、中間決算報告
	2020年3月9日	令和元年度第2次補正予算案、令和2年度事業計画及び予算案の承認、賃金規程・母屋運営規程改定、表彰者についての承認
評議員会の開催	2019年6月21日	平成30年度事業報告・計算書類等承認、定款変更、役員等報酬規程改定、役員選任の件
	2019年12月5日	令和元年度第1次補正予算案、定款変更の件、令和元年度中間事業報告、中間決算報告
	2020年3月17日	令和元年度第2次補正予算案、令和2年度事業計画及び予算案承認の件

- 監事監査の実施 日時：令和元年5月24日 監事：百合岡靖裕、加藤成久
社会福祉法人まほろば定款第二〇条第1項の規定に基づき、平成30年度事業に係る理事の職務執行の状況及び法人の財産の状況等を監査
- 地域交流イベントの開催
令和元年5月19日（日） 第27回まほろばカーニバル
令和元年9月28日（土） 第7回まほろば感謝祭
- 「祝賀会及び古神の土地のお披露目会」開催 日時：令和元年1月9日 場所：神戸市西区神出町古神 社会福祉法人まほろば古神研修棟
目的：土地のお披露目及び長期事業計画策定に係るアンケートを実施
- 法人理念の浸透・人材育成 理事長講話、法人内部研修の実施
- 新規事業開始 令和元年4月1日より「相談支援事業所 和」に「障害福祉サービス事業 自立生活援助」を追加し事業開始
- 固定資産の取得 ①神戸市西区神出町古神の土地（田・畑）2筆2,957㎡取得（三木光司園就労支援事業に使用）
②三木市志染町東自由が丘中古建物及び土地取得（ホームにっこりに使用予定）
- 施設整備 神戸市グループホーム整備補助金を活用し、ホームまほろば建物老朽化改修工事（外装・内装改修）を実施
- 社会貢献表彰 ①金附洋一郎氏 法人設立前より法人の理事・評議員を歴任され、法人の事業発展及び増進に寄与・貢献された。
②斎藤和代氏 昭和63年より平成31年3月まで法人の絵画クラブ講師及びさをり織の指導に携わり利用者支援の上に貢献された。
永年勤続表彰 10年勤続者 ウェルフェアまほろば職員1名
- 各種規程の制定・改定 ①就業規則改定（有給休暇付与の義務化）②賃金規程改定（技能・資格手当の創設）
③職員自主研修規程制定（福祉資格取得のための研修費用の補助）
- 苦情対応：苦情受付窓口設置、苦情解決委員会開催（第1回：令和元年10月16日 第2回：令和2年3月25日）
- 虐待防止対策：虐待防止対応研修年2回、チェックリストの実施
- 非常災害対策：地震、通報、初期消火、消火器取扱、避難訓練を実施

※令和元年度 収支決算報告は、下記まほろばホームページ上にて公開しております。

●ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せください。

〒673-0434

社会福祉法人まほろば

住所：三木市別所町小林字仕負谷118-111

電話：0794-82-9457

FAX：0794-82-3784

担当：広報係迄

HP：http://www.mahoroba.or.jp

皆様からのご意見を募集しています

皆様のご意見をお寄せください。年に2回のまほろばだよりですが、読者の皆様からのご意見を募集して要望や情報等を共有し、今後の活動や支援等に役立てていきたいと考えております。

まほろばホームページ

QRコード↓

